



山川中学校だより

自律 親和 創造

第2号

令和8年5月18日(月)

文責：谷 陽子

新年度がスタートして一か月余りが経過しました。校庭の木々が美しく緑を増していく中、生徒たちは新しい学級や環境にすっかり馴染み、それぞれの一步を力強く踏み出しています。



部活動でも、選手権大会、リーグ戦等を経て総合体育大会(北部Bブロック大会)に向け、日々、練習に精進している姿が見られます。5月のこの時期は、連休が明け、心身ともに疲れが出やすい時期でもあります。生徒一人ひとりが焦らず自分のペースで学校生活のリズムを整え、自分らしさをのびのびと発揮できるよう、教職員一同サポートしてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

◎スマホ・ネット安全利用教室を実施しました

先日、阿波吉野川警察署生活安全課の方をお迎えし、全校生徒を対象に「スマホ・ネット安全利用教室」を実施しました。SNSや情報の検索、オンラインショッピングなど、インターネットは今や生活に欠かせないものですが、一歩間違えれば重大な犯罪やトラブルに巻き込まれる危険と隣り合わせです。

■ネット社会に潜む「見えない罠」

SNSでのコミュニケーションの行き違いや、写真の投稿から位置情報が特定される危険性など、具体的な事例を学びました。

○SNSの落とし穴

相手の状況を考えない「既読無視」への思い込みが心の健康を害することや、SNSで知り合った「優しい人」を安易に信用し、実際に会って犯罪に巻き込まれる深刻なケースが報告されています。

○デジタルタトゥーの恐怖

一度ネット上に公開された情報は、一生消すことができません。デジタルデータは劣化せずにコピーされ続けるため、すべての情報を回収することは不可能です。



■自分の身を自分で守るために

些細な過ちで将来の進路や夢を閉ざさないよう、生徒たちには「自分を守るための安全利用のポイント」について説明していただきました。

1 フィルタリングの活用

条件を設定して、トラブルに巻き込まれる可能性のある危険なサイトへのアクセスを制限する機能です。自分を守るための大切な防護壁となります。

2 個人情報を公開しない

顔写真も加工され、わいせつ画像等に悪用される恐れがあります。

3 ネットで知り合った人に会わない

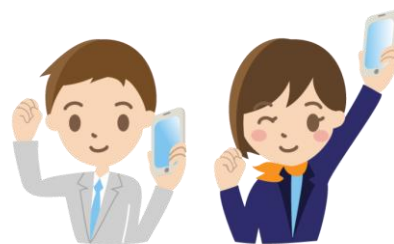
画面越しでは本当の姿は分かりません。安易な ID 交換は厳禁です。

4 信頼できるサイトやアプリを利用する

「無料」という言葉の裏側には、危険性がひそんでいます。

5 ルールとマナーの徹底

情報を送信するときは、受け取る人の気持ちを考えて送ります。日常生活で「ダメなこと」はネットでも絶対にしてはいけません。



万が一トラブルに遭ったり、困ったりしたときは、一人で抱え込まず、すぐに周りの大人や警察に相談してください。「自律」した利用者として、高い意識をもって技術を活用できるよう、ご家庭でもスマートフォンの利用ルールについて、ぜひ話し合う機会をもっていたいただければ幸いです。

学校の様子を紹介します。

4月16日（木）交通安全教室を実施しました

阿波吉野川警察署の方をお招きし、交通安全教室を実施しました。講話では、この4月から改正された自転車の違反ルールについて、具体的な事例を交えて詳しく説明していただきました。交通ルールを守ることは、自分の命だけでなく他者の命を守ることに直結します。ゆとりをもって、常に安全な自転車利用を心がけたいものです。



5月1日（金）避難訓練（シェイクアウト訓練）を実施しました

地震を想定した避難訓練を実施しました。前日の雨の影響でグラウンドの状況が芳しくなかったため、今回は「シェイクアウト訓練」のみの実施となりました。生徒たちは本番さながらに緊張感をもって素早く行動し、しっかりと身を守る動作を徹底していました。

